

レアテック株式会社 本社 環境行動計画

平成 21 年 4 月 21 日

取 組 方 針

レアテック株式会社は、建築保全リニューアルの企画、施工、設計、監理を行っており、より高度なテクニックで既存の建築物を維持保全・再生させることをモットーに、常に「喜んでもらえる、よろこび」を意識し地域の環境リニューアル事業に努めております。

環境リニューアル事業活動を進めていく中で、当然環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら日々、進歩・発展していくことを目指していきます。

私たちは、当社の事業活動が環境に及ぼす、影響を最小限にとどめるため以下の行動に取り組みます。

- ① 事業活動の中で、資材、材料等のグリーン製品の使用
- ② 危険物・化学物質の安全な取扱い
- ③ 廃棄物の削減とリサイクルを進めます
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが高い環境意識をもち、自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知致します。

平成 21 年 4 月 21 日

レアテック株式会社
代表取締役社長 杉山 拓也

なお、一般廃棄物の排出量については、今後、データを把握することとしています。

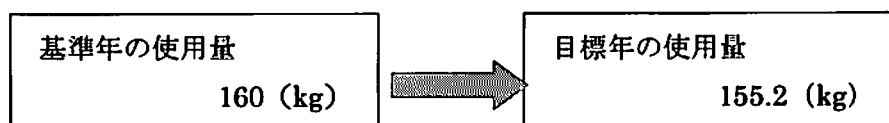
3. 環境負荷の低減目標

平成 22 年 7 月に向けての環境負荷の低減目標は次のとおりです。

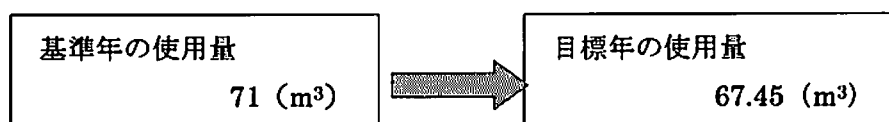
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 3%削減する



【目標 2】 コピー用紙の使用量を 3%削減する



【目標 3】 水使用量を 5%削減する



4. 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素の削減

- ・ 昼休みと休憩時間には、機械の電源を切る。
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする。
- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時 28 度、暖房時 20 度)に設定する。
- ・ 昼休み消灯と人の居ない部屋の消灯を徹底する。
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する。
- ・ 社内用の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する。
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける。
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する。

【取組 2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する。
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない。
- ・ ゴミの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める。
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する。
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する。
- ・ 製品を出来るだけ長期間使用する。

【取組 3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する。
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する。

- ・ 書類、資料の電子データ化を進める。

【取組 4】水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する。
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける。

【取組 5】危険物・洗浄剤の安全管理

- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する。
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする。
- ・ 保管庫からの危険物・洗浄剤の持ち出し量を記録する。
- ・ 危険物・洗浄剤を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う。

【取組 6】そのほかの取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する。
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する。
- ・ 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない。
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する。

5. 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。